

日本風景街道だより

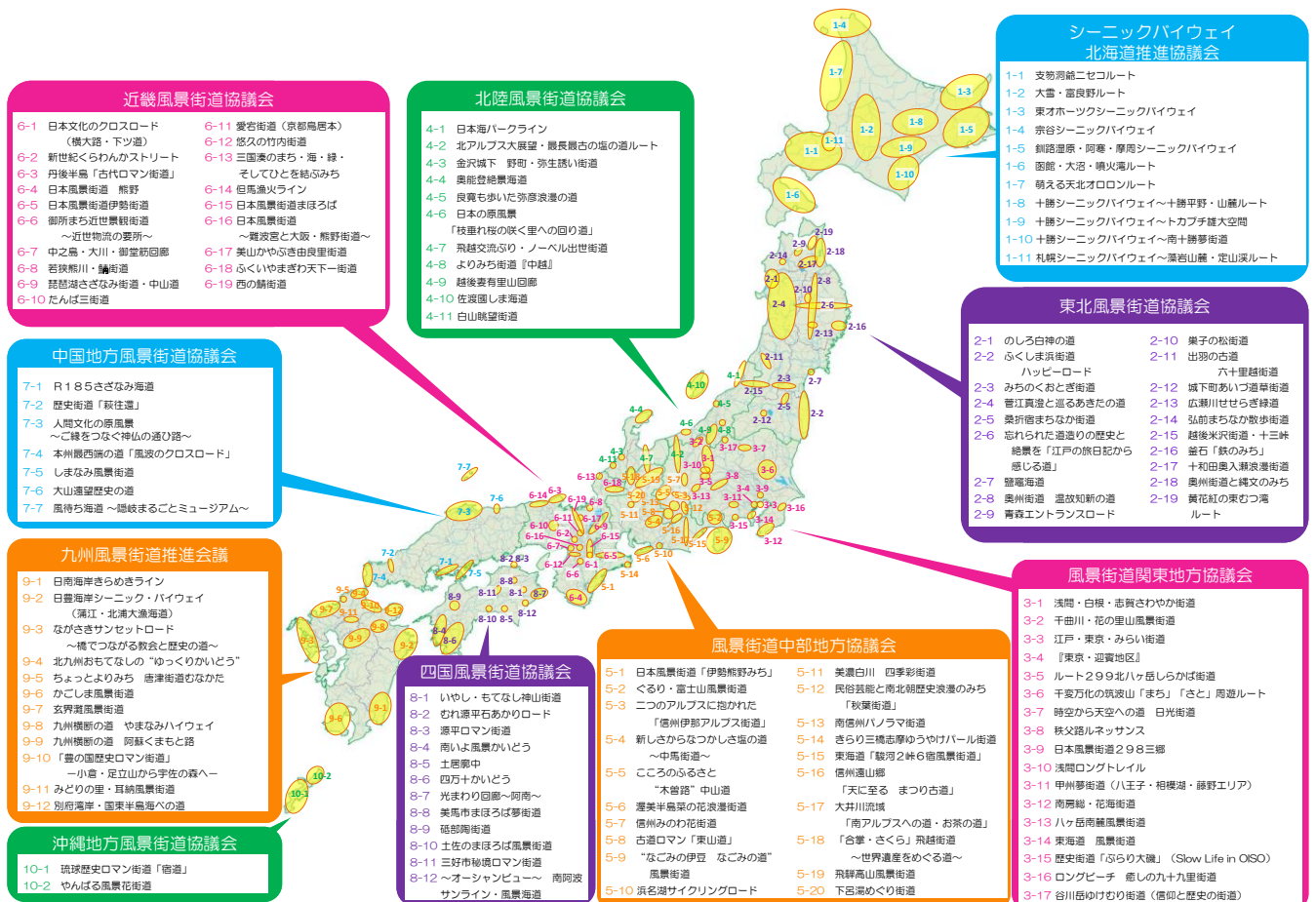
2013年夏 Vol. 25

全国で130の風景街道が登録

全国で130の風景街道が登録されています(平成25年3月末現在)。

登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

ルートテーマ：「十勝型産業の創出と人口増加」

ルート名：十勝シーニックバイウェイ～トカプチ雄大空間

1. ルートの概要

北海道の東部、雄大な日高山脈や大雪山系の麓、いかにも北海道らしい広大な平地が広がる十勝地域。その十勝の中央部、帯広市をはじめ、周辺7町を含む十勝中部エリアが「十勝シーニックバイウェイトカプチ雄大空間(代表:野村文吾)」の活動エリアです。

山々に囲まれた広大で平坦な畑作酪農地帯と澄み切った大空という立体的な空間の中に帯広市をはじめとした都市と自然とが共存する地域特性から、バリエーションに富んだ様々な魅力を有するエリアとなっています。



トカプチ雄大空間の活動エリア



新嵐山展望台(芽室町)から望む十勝平野



真鍋庭園(帯広市)は、まるで「おとぎの国」

2. 活動の概要

トカプチ雄大空間では、ルートのテーマとして「十勝型産業の創出と人口増加」を掲げ、経済活動、ボランティア活動、連携、活性化の4つを循環させることを活動の柱としています。

ご当地観光情報センターの実現に向けルート活動に参加する施設でお得なサービスが受けられるチケットの販売等の企画作りや十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ(ご当地風土アドバイザー)」の育成などを行っています。



ボーヤ・ファーム(池田町)

5. ～トカプチマップ事業～

「トカプチ雄大空間の魅力をわかりやすくひとまとめにし、情報を発信したい」、そんな想いで「トカプチ雄大空間ルートマップ」は作られています。地図はもちろん、ルート内の観光ポイントやお食事処、ドライブルートの案内等、B2版両面に情報がぎっしり詰まっており、観光客の方々にたいへん好評です。平成24年度は7万部が発行され、十勝を訪れる方々の観光ナビゲーターとして利用されており、今後も、より利用しやすい魅力的なマップを目指して、見やすさの向上や、情報の充実などを図っていく予定です。



トカプチ雄大空間ルートマップ (B2版両面)

6. ～人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト～

「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」は、100年後の道路景観を創り、子供たちの未来に大きな贈り物をしたという想いから、シーニックバイウェイ北海道の4つのルート(大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道)と北海道ガーデン街道協議会が連携し、実施しています。当プロジェクトは北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を地域の方々と一緒に、上川から十勝間の沿線等に植えるなど、訪れる人々に、地域の要所、休憩箇所、景観の優れた箇所などを案内し、おもてなしを行うプロジェクトです。植える木は「ヤマナラシ・エレクタ」。スラリとした樹形が特徴的な樹木です。



人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト

今年度は(株)ニトリ様、(有)高橋商事様からご協力を頂くとともに、北海道コカ・コーラボトリング(株)様の賛同と企業協賛による初めての共催記念植樹もおこなわれました。今後も地域や企業との連携を強め、引き続き植樹や維持管理を行っていく予定です。



北海道コカ・コーラボトリング(株)様との共催記念植樹



植樹の風景(右:野村文吾代表)

7. おわりに

トカプチ雄大空間では、今回ご紹介した以外にも様々な取り組みを行っています。ルートのテーマである「十勝型産業の創出と人口増加」を目指して、訪れて頂く方々、それをお迎えする地域、双方が楽しんでいただき地域の活性化が図られるよう、今後も活発な活動や新たな取り組みを進めていきたいと考えています。

〈執筆者〉

十勝シーニックバイウエイ「トカプチ雄大空間」事務局 帯広商工会議所 田中 千博

シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

国道 41 号を舞台にした様々な活動を通して地域の魅力を再発見！

ルート名：飛越交流ぶり・ノーベル出世街道

1. ぶり・ノーベル出世街道とは

東海地方と北陸地方を結んでいたかつての飛騨街道（飛越街道）は、江戸時代、東岩瀬（富山市岩瀬）で水揚げされたぶりを、飛騨・高山、信州まで運んでおり、『ぶり街道』とも呼ばれていました。現在、新鮮なぶりは、どこにいても食べることができますが、かつては、保存のため「塩ぶり」として運ばれており、富山から遠くなるにつれて、ぶりの塩味も増し、飛騨地方では、焼き物や煮物として食べられていたそうです。

ルート名の由来は、この地域の雄大な自然環境やぶりのDHAが影響してか、これまでノーベル賞を受賞した白川英樹さん、利根川進さん、小柴昌俊さん、田中耕一さんが、富山から高山までの国道 41 号沿線にゆかりが深いことから、出世魚である「ぶり」と 4 名の「ノーベル受賞者」にあやかって『飛越交流ぶり・ノーベル出世街道』と命名しました。

今回は、当ルートが誇る多くの観光資源について、その一部をご紹介します。



ルート位置図



回船問屋郡の残る町並み



神通川にかかる笹津橋

2. 自然、歴史、文化が薫る地域の観光資源

（北前船が往来した岩瀬）

「ぶり・ノーベル出世街道」の起点、富山湾に面する岩瀬周辺では、江戸時代多くの北前船が往来し、米や木材、海産物などを仕入れ近畿や関東方面へ運んでいました。現在も回船問屋郡の残る町並みに当時をしのぶことができます。

（笹津橋とおわら風の盆）

笹津橋は、神通川の峡谷をまたぎ、道路輸送基盤の要として昭和 16 年に建設されたアーチ橋で、そのデザインは神通峡の峡谷美と見事に調和しており、平成 11 年に国登録有形文化財として登録されました。また、江戸時代から続くと言い伝えられる豊作祈願の祭り「おわら風の盆（毎年 9/1～3 日）」の開催時期に合わせ、8 月中旬から 9 月初旬にかけては、笹津橋のライトアップが行われています。

(神通峡)

神通峡は、岐阜県の飛騨高地(中部山岳)に源を発し、神通川の激流が造り上げた、鋭いV字を成す美しい渓谷です。その美しい姿とは裏腹に、かつての街道では、断崖絶壁の中を人ひとり歩くのがやっとという、難所中の難所でした。四季折々で違う風情を見せるその姿は、景勝地として多くの人を引きつけています。



四季で違う風情を見せる神通峡

(野仏の道)

東海と北陸を結ぶかつての飛騨街道は狭い道や断崖絶壁など難所として知られ、往来する人の無事を願って数多くの野仏(石仏)が存在し、今でも地域の人々によって大切にされています。



旅人の無事を祈り作られた野仏

(猪谷関所館)

現在の富山県と岐阜県の県境付近では、明治時代まで北陸と東海地方を結ぶ要として神通川の右岸側に東猪谷関所、左岸側には西猪谷関所が置かれていました。その内、西猪谷関所跡には現在、猪谷関所館があります。ここでは、関所関係の文献や資料が展示してあるほか、円空仏をはじめとした民族資料など貴重な資料が、数多く展示され、当時の交易や人々の暮らしをしのぶことができます。



猪谷関所館と円空仏

3. ウォーキングマップ

ご紹介した見どころをゆっくり散策していただく、3つのエリア(岩瀬、笹津、猪谷)に分けて、2kmから7kmの合計12コースのウォーキングコースを設定しています。下記のホームページからも見ることができますので、ウォーキングを通じ、ゆっくりと歴史や文化に触れて見ませんか。

<http://www.buri-nobel.go.jp/index.html>

(ぶり・ノーベル出世街道 情報提供サイト)



ウォーキングマップ

4. 地域の魅力を再発見するための様々な活動

当ルートでは毎年、下記のような取り組みを実施し、地域の皆さんが故郷の魅力を再発見するとともに市外、県外の方々をお迎えして新しいふれあい、交流を育む活動を進めています。

- ・道路清掃活動(4月):沿道約6kmの区間について道路清掃を実施。
- ・らっきょうの体験掘り(7月):国道41号「道の駅細入」にて地元の特産品であるらっきょうの体験掘りができるイベントを実施。
- ・飛越ふれあいまつり(9月):猪谷関所館周辺にて猪谷関所の紹介とともに地元特産品等を販売。
- ・細入まつり&ウォーキングイベント(11月):地元のお祭りに併せ、国道41号の一部を歩行者天国にして、紅葉の神通峡を歩いてもらうウォーキングイベントを実施。

このうち、今回は「らっきょう体験掘りフェア」および「細入まつり&ウォーキングイベント」について報告します。

(1) 道の駅と日本風景街道の連携 ～らっきょう体験掘りフェア～

当ルートでは毎年7月、国道41号 道の駅細入や隣接する畑を会場に、参加者自らが細入地区の特産品らっきょう掘りを体験するイベントや特産品販売を開催しています。当地区のらっきょうは、味や歯ごたえが良いと人気があり、例年多数の来訪者で賑わいます。

今年は、日本風景街道の活動として、さらに工夫の余地が無いが、地域の皆さんと協議を重ねた結果、隣接する除雪ステーション内を体験掘りの「待ち合いスペース」に活用し、日本風景街道のPRや東日本大震災復興復旧パネル展示、道路の維持管理などのDVD放映を行い、それに加え、収納していた除雪機械を屋外展示し、試乗コーナーを設置しました。

フェアを実施したH25.7.7(日)9:00～14:00には、県内外から約1,300人の方々が訪れ、らっきょう体験掘りや特産品コーナーを満喫して頂きました。加えて、今年はじめて開設した展示コーナーでは当ルートの魅力紹介に貢献するとともに、除雪機械試乗コーナーでは、普段間近に接する機会がない除雪グレーダー等を見て触って乗ってみる事ができたため、多くの親子連れが運転席で記念写真を撮影していました。



特産品コーナー



除雪 ST 活用状況



風景街道 PR



除雪機械を試乗する親子



東日本大震災パネル

(2) 地域の魅力再発見 ～細入まつり&ウォーキングイベント～

当ルートでは地域の「細入まつり」と協働で、国道41号のウォーキングイベントを継続して開催しています。このイベントでは、普段歩けない国道の真ん中を歩き、神通峡の美しい景色を堪能できるとあって、毎年多くの来訪者が訪れており、昨年の開催では、県内外の約1,000人(H24.11.4)の方々が来訪し、特産品や飲食コーナーでは昼過ぎには売り切れるなど、盛況を博しました。

また、風景街道の紹介ブースでは、本ルートの紹介だけでなく飛騨地域のルートのパンフレットやパネルを展示し、PRを行っています。



国道ウォーキングの様子



風景街道紹介ブース

5. おわりに

飛越交流ぶり・ノーベル出世街道は、沿線にある豊富な自然や歴史、文化の薫る地域資源を地域の皆さんと一緒に再発見し、国道41号を舞台に「人と人」が触れ合うことでまた次の交流を生み出す、そんな街道を目指して、今後も活動して行きたいと思っております。皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

〈執筆者〉

飛越交流ぶり・ノーベル出世街道 行政事務局

シリーズ：社会資本整備総合交付金等の活用事例

「スケッチをテーマにしたイベントへの支援」

ルート名：日本風景街道まほろば

(奈良県奈良市・天理市・桜井市・橿原市・明日香村)

1. 「日本風景街道まほろば」の紹介

「日本風景街道まほろば」は、山の辺の道・国道169号でつながる奈良県奈良市・天理市・桜井市・橿原市・明日香村を中心に、NPOと行政からなる風景街道「まほろば」連絡協議会が活動主体となって、平成19年11月に日本風景街道に登録されました。

当ルートのエリアには1998年12月にユネスコ世界遺産に登録された「古都奈良の文化財(東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡)」があり、さらに2007年1月に文化庁の世界遺産候補となった「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」があるなど、奈良らしい景観と歴史・自然・文化を満喫でき、まさに「まほろば(優れたよいところという意味)」にふさわしいルートです。

これらのエリア内の風景、歴史、自然など地域の魅力を道でつなぎ、訪れる人と迎える地域の交流を通じて、美しい景観形成、観光振興、コミュニティ形成などの幅広い効果を目指して活動しています。



ルート位置図



山の辺の道



みわ月あかり



石舞台古墳



石上神宮

2. 「日本風景街道まほろば」のさまざまな活動

「日本風景街道まほろば」は、美しい風景の発見や風景の魅力の情報発信を基本にしながら、まほろばルート of 地域間交流を通じて学びあい、民間団体と行政の協働による地域の魅力づくりに繋がる取り組みについて、以下のような活動を行っています。

① 「語り部つあー」の実施

考古学や歴史・文学の専門家に「語り部」となっていただき、解説を聞きながら歩くウォーキングツアーを行っています。道と沿道景観を形成してきた歴史や文化をしっかりと学習し、基礎知識を持って歩くことで、風景をより深く楽しむことができます。



語り部つあー（山の辺の道周辺）



語り部つあー（明日香村周辺）

② 日本風景街道「まほろば」写真展の実施

「語り部つあー」参加者の方々に「好きな風景」と「残念な風景」を写真に撮って頂き、協議会メンバーで手づくりの写真展を開催し、期間中に語り部によるギャラリートークを実施しました。



写真展風景



語り部によるギャラリートーク



池のほとりでのスケッチ



古代衣装を着た語り部による説明(大神神社拝殿前)



参加者の作品(池のほとり)



参加者の作品(大神神社)

4. まとめ

まちづくりを行うにあたっては、地域住民の方が自分たちの住む地域の良さを認知してもらう必要があります、特に、日常の何気ない風景や景観が、長い歴史や風土により培われたものであることへの気づきが重要です。

今回の「おえかき散歩」の取り組みでは、その地域の物語や伝承を背景にスケッチを行うことで、一つの風景・景観をじっくりと観察し、その大切さに気づくことを実践することができたと考えられます。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	畑山 朗	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	増澤 亨	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	石浜 康賢	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	稲本 義昌	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	稲垣 光正	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	南條 耕平	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	糸原 保	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	野上 直樹	087-851-8061(代表) (内線 4631)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	石橋 賢一	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>